



2014年6月号

憧れの高価なブランド服を姑に買ってもらった娘は大興奮。 「また行こうね」と約束もしたという姑に、 釘を刺しておきたいのですが……



論理アタマが育つポイント

子どものためと思うなら、
「嫁 vs. 姑」ではなく、「母親」同士として
共感もてるような話し合いを



*最初に、娘が喜んでいることについてのお礼を伝えましょう。



今日は、優香に素敵なお洋服をありがとうございます。帰ってきてから、すぐにうれしそうに見せてくれたんですよ。ずっと前から欲しがっていたブランドなので、もう大喜びです。

*高価なものを買ってもらったことについても感謝の気持ちを。



子ども服といっても、最近は高いものが多くて……、
すいません、優香が無理を言ったのではないのでしょうか

*娘のおしゃれに対する関心は、母親としては心配な側面があることを相談します。



最近、急にファッションに興味が出てきてるんです。小4では早いような気もするんですけど、
反対してばかりでもかわいそうですね……？ 判断が難しいなと思って

*姑の意見を聞いたうえで、母親として女の子のファッションについて心配な点を具体的に伝えます。



おしゃれに興味をもつ気持ちは大切にしたいんですけど、これからの季節、やっぱり、
あまり肌の露出の多いものは避けたいんですよね

*最後に娘と買い物についての決めごとを話し合うことを告げましょう。
これならお義母さんも納得です。



お義母さんのお話を聞いてよかったです。やっぱり、
子どもとある程度ルールを決めたほうがいいですね。
優香もお義母さんとの買い物を楽しみにしているので、
これから話し合ってみます。ありがとうございました！



今月のお題
伝える技術 6

憧れの高価なブランド服を 姑に買ってもらった娘は大興奮。 「また行こうね」と約束もしたという 姑に、釘を刺しておきたいのですが……

クレームをつけるのではなく、子育ての
先輩としての正論を姑から引き出しましょう



多くのおかあさんにとって、お姑さんはかなり気を使う相手でしょう。思っていることをそのまま言ってしまうと角が立ちそうだから、「ここは我慢」とグッとこらえたという経験は皆さんおもちなのではないでしょうか？
でも、子どもの教育上問題ありと判断した場合は、そうも言っていられませんが、言いにくいことをちゃんと伝える。そんなときこそ、論理力が役に立ちます。

娘が喜んでいることには
まず感謝の気持ちをもつ
では、今回のお母さんの場合、姑が娘の服を買ったことについて、どういふ点が嫌だったのか考えてみましょう。
おそらく、理由としては
*デザインが親として好ましくない。
*子ども服としては高価すぎる。
*親の許可なしに与えないでほしい。

子育ての先輩として
姑に相談する姿勢で
ただ、友人ならそれきりかもしれませんが、姑と娘が「また買い物に行こう」と約束しているのが実は問題なのです。常習化しないように、対

といったところでしょうか？
これをそのまま伝えたら、間違いなく怒りまじり、下手をすれば言い争いになってしまうかもしれません。なぜなら、そこには、姑の気持ちに対する配慮がないからです。少々値段は張るけれど、孫の喜ぶ顔が見たくて奮発したことに対して感謝の言葉がなければ、どんな話も聞く耳をもってもらえないでしょう。もし相手が姑ではなく、あなたの友人だったら、少々プレゼントの内容に不満があっても、とりあえずは「娘が、今まで欲しかったものを買ってもらって、とても喜んでいる」と、お礼を言うと思います。

策を打つ必要があります。
お礼の後、話をスムーズに進めるには、母親としての心配をできるだけ自然に姑にも共感してもらおうことが肝心です。
たとえば、「最近、あの子も大人っぽい洋服に興味が出てきたんですけど、お義母さん、どう思いますか？」というような相談する姿勢で思いを伝えてはどうでしょうか？ 姑も子育ての経験から、「欲しいものはどんどん買ってやればいい」とは言わないと思います。きっと、母親の先輩として教育的に望ましい解決方法を提案してくれるでしょう。その意見を参考に、洋服のプレゼントについては、
*お誕生日、クリスマスなどに限る。
*あらかじめ、予算を決めておく。
*露出の多いものは避ける。
など、娘と具体的に話し合うことを告げてください。かわいい孫のためになることなら、姑も快く理解してくれますよ。

論理アタマを育てよう！ ママのための 日本語トレーニング vol.12



女の子がファッションに興味をもつのは、自然なこと。ただ、母親としては、「してほしくない」格好もあります。素直に言うこと聞いてくれたらいいのですが、娘に思わぬ味方がつくると話ほちよとやこしくなります。

出口 汪 でぐち・ひろし
大学院生時代に予備校の教壇に立ち、独自の論理的解法を駆使した講義でたちまち人気を博し、現代文のトップ講師として30年以上にわたり、教える。2002年に自らの経験の集大成として「論理エンジン」を開発。執筆した受験参考書の売り上げは累計600万部を超える。小学生向けの「出口汪の日本語論理トレーニング」シリーズ(小学館)が好評発売中。